

ス

ローライフを体験できる施設が完成
佐久島クラインガルテン開園式

3月15日、佐久島で「佐久島クラインガルテン」の開園式が行われました。クラインガルテンとはドイツ語で「小さな庭」の意。佐久島クラインガルテンは離島としては全国初の宿泊滞在型農業体験施設で、管理棟や70㎡の農地のある宿泊棟、多目的交流広場などが設けられています。開園式では佐久島小学校・中学校



の子どもたちが佐久島太鼓を披露し、小島副市長や新家市議会議長らによるテープカットが行われました。宿泊施設の利用者は、全国から応募された110件から抽選で選ばれた10組。バーベキュー施設など一般の方でも利用できる施設もありますので、楽しみながら交流に訪れてみてはいかがでしょうか。



大

丈夫だよ、がんばろう！
山田邦子講演会

3月17日、一色町公民館でタレントの山田邦子さんの講演会「大丈夫だよ、がんばろう！」が行われました。5年前、テレビ番組の出演をきっかけに乳がんを発見し、手術を行った邦子さんは、タレント業のかたわら、がんの早期検査や早期発見の啓蒙活動

を行っています。講演会では舞台いっぱいに動き回り、「MRIを芋洗いと聞き間違えた」などと病院での検査や治療時のエピソードを語ったり、「大きな声で歌うと免疫力が上がる」と観客全員で合唱したりするなどコミカルな語りで会場を沸かせ、「発見が早ければ今はがんでは死なないから、怖がらずに検査に行こう。会場にいない人にも話をして、がんを撲滅しよう」と笑顔で呼びかけていました。



第

14回はず夢ウォークと
愛知こどもの国春まつり

やっと春めいてきた3月25日、東幡豆駅を出発して愛知こどもの国をひと回りする第14回はず夢ウォークが開催されました。参加者は、小鳥たちがさえずるあさひが丘や子ども汽車の汽笛が響くゆうひが丘を巡り、魅力溢れる愛知こどもの国を体感していました。

ゆうひが丘の自由広場では春まつりが開催されており、ステージ上で「はずみやこ幼稚園」の園児が元気良く歌や鼓笛演奏を披露すると、たくさんの観衆から温かい拍手が送られていました。



3/15 福中にしがま応援団
1年生体感ウォークラリー

名鉄吉良吉田駅から福地中学校まで同校1年生78人が名鉄西尾・蒲郡線を「乗って残そう」とPRしながら歩きました。



3/17 シャルキヨロマの
千夜一夜物語



文化会館小ホールで定期コンサートを開催。異国情緒あふれる旋律とベリーダンス・韓国舞踊との共演に、

来場者は魅せられていました。

3/23 竹芸ひとすじ
～3/25 鳥居一峯の世界展

文化会館で、西尾文化協会創立40周年記念として開催。竹工芸作家の鳥居一峯氏の日展特選作などが展示され、訪れた人たちは竹工芸品の魅力に見入っていました。



4/1 市消防団入退団式



一色町公民館で市消防団入退団式が挙行政され、市長から各消防団の団長に辞令が交付されました。

今月の表紙

4月1日に開催された西尾みどり川桜まつり。桜が咲き始めたみどり川周辺をはじめ、中心市街地ではさまざまなイベントが催されました。本町通りには自動車への落書きコーナーが設けられ、子どもたちが車体を塗り潰すかのようにペンを走らせていました。

編集 雑記

「漢字なんてワープロや電子辞書があるから覚える必要なんて無い！」と、小学生の頃から活字離れを決意した自分が広報紙作成の担当になるとは…。情報を伝えること、ご意見を伺うこと、ごく単純で基本的なことなのですが、これが簡単なことではないですね。言葉・活字の奥深さをひしひしと感じている今日この頃ですが、より多くの方に分かりやすく、正しい表現で正確な情報をお伝えできるような紙面作りを目指して努力していきます。(A)

西 尾の観光名所などを再発見！
西尾かるたで遊びましょう

3月25日、青年の家で「西尾かるたで遊びましょう」が行われました。合併1周年を記念して西尾市レクリエーション協会が企画。市内在住の6組20人の親子が参加しました。西尾の名所や旧跡、



祭り、特産品などを題材に作られた「西尾観光かるた」を使い、競技開始。取った数を競う通常のルールほかに、



取ったかるたの名所や特産品の産地などの場所を観光ガイドマップで確認しながら進められました。参加者はかるたを楽しみ、またマップで分からない場所は協力して探したりして、親子の絆を深めながら、西尾の魅力を学んでいました。

料 理が好きになる
春休み親子食育教室

3月29日、吉良保健センターで春休み親子食育教室が行われました。皆エプロン姿になり、講師から手順の説明があったあと、さあ、料理開始です。



かぼちゃ白玉をませませこねこね。丸めてお湯の中へ入れたら、浮かび上がってきた白玉をすくいます。冷やして、黒みつときな粉を掛けて出来上がり。ほかに



にもシチューとサラダを作り、親子そろって「いただきます」。お味はいかがと感想を聞くまでもなく、「おいしい」の声と笑顔が。これからもお母さんを手伝って、おいしい料理を作ってね。